

記入例  
(A3印刷)

# 農地転用計画書

株式会社〇〇  
代表取締役/  
印

(事業計画)

株式会社〇〇  
代表取締役/  
印

## 1. 転用者(申請者)の住所・氏名

氏名	住所
株式会社 △△ 代表取締役 駒松 たろう	十和田市●番町×番×号

## 2. 転用の目的(具体的且つ詳細に記入のこと)

レストラン1棟及び物置1棟の建築、来客者及び従業員用駐車場の整備

## 3. 継続転用の有無

第1期工事 令和 ×年 ×月 ×日から着工し、令和 ×年 ×月 ×日まで  
その施設の面積 310 m<sup>2</sup> で転用の面積 700 m<sup>2</sup>

第2期工事 年 月 日から着工し、年 月 日完了  
その施設の面積 m<sup>2</sup> で転用の面積 m<sup>2</sup>

## 4. 転用の目的に係る資金の総額

(単位:千円)

土地購入費	建物及び施設の建築費	土地造成費	その他の経費	総額
××千円	××千円	××千円	××千円	××千円

## 5. 転用の目的に係る事業及び概況

建築物(工作建物 の物の名称)棟数	建築面積又は 工作物の面積	建築経費	資金調達	備考
レストラン 1棟	300m <sup>2</sup>	××千円	イ 自己経費 ××千円	
物置 1棟	10m <sup>2</sup>		ロ 借入金 ××千円	
	計310m <sup>2</sup>			

## 6. 土地造成方法及び造成費見積りの内訳

イ 土砂利をもって盛土として1m<sup>2</sup>当たりの費用 千円  
計 千円

ロ 現在地を整地するだけ、その費用 千円

ハ その他の方法及び経費 ××千円(アスファルト舗装他外構工事を含む)

## 7. 転用後利用する一般道路施設の有無

イ 転用地までの巾員 ×× m以上の道路がある。これは国道・県道・市町村道・私道である。  
ロ 以上の道路はないが施設工事中(転用許可等があるか、ある場合はその許可は  
年 月 日付けである)

ハ 下水路(汚水又は廃水)の施設をどうするか、その内容  
汚水及び生活排水は公共下水道に接続して処理し、雨水は浸透柵を用いて宅地内処理する。

## 8. 転用することによる事業内容と予想収益

(前年度実績)

事業名	1. 営業(又は製品の明細)	2. 年間総所得
飲食施設建築	飲食業(レストラン経営)	×× 千円
3. 営業経費	4. 雇用人員	5. 年間経費
×× 千円	× 人	×× 千円
6. 予想収益		
×× 千円		

なお、山林に転用する場合は上記のほか転用する前までの作付品種10アール当り収穫高を記入のこと。又、資材置場は資材ごとの数量及びその面積を記入のこと。

## 9. 転用すべき土地の状況(附近の状況を公益的施設の整備状況を含めて具体的に)

国道×号線及び市道〇〇線に接し、都市計画区域内で商業地域に指定されている。近隣にはスーパー、ホームセンター、ドラッグストアなどの商業施設が集中している。北側は水路、東側は宅地、南側は市道、西側は農地に接している。

## 10. 転用する土地を選定した理由(交通・事業目的の発展との関連状況)

(環境等につき具体的に又この土地でなければならない理由)

幹線道路である国道×号線に面した商業地域内に位置しており、交通の便もよく十和田市内及び周辺市町村からも集客が見込まれるため。

## 11. 転用することにより、近隣の農作物等(又は人畜、公衆衛生上)に被害を及ぼすことはないか、あると予想される場合はその防除施設の内容

雑排水は公共下水道に接続し、雨水は浸透柵による宅地内処理を行う。また、土砂流出防止のためアスファルト舗装を施し、隣地境界には擁壁を設置する。以上のことから、付近に被害を及ぼすおそれはないと判断する。

## 12. 転用する面積を必要とする理由(具体的、且つ詳細に必要な面積を記入)

レストラン1棟のほか、資材保管用としての物置1棟、来客者及び従業員用駐車場の敷地が必要である。  
レストラン 300m<sup>2</sup>、物置10m<sup>2</sup>、駐車場390m<sup>2</sup>(来客者用300m<sup>2</sup>、従業員用90m<sup>2</sup>) 計700m<sup>2</sup>

## 13. その他参考となる理由

特になし